

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例番号482

発生場所	玄関	精神・意識障害の有無		リスク
発生場所（その他）		なし		C. 不適切な環境設定・維持管理不足によるリスク
関連したもの	手すり	発生内容の分類	転倒	

発生内容

玄関での転倒。

概要

整形外科受診のため来院。病院の玄関を入り2つ目の自動ドアを入ったところで、手すりを持ち損ねそのまま転倒。ボランティアよりmSWへ連絡。mSWより報告を受ける。本人へ確認するが、左膝を打撲したのみで痛みなく歩行も出来ていると話す。整形外科医師へ報告。レントゲンの指示あり。レントゲン上、骨折等なく経過観察となる。

要因

手すりが滑りやすい。手すりが太い。

対策

玄関へ見守り、介助の出来るスタッフを配置する。正面玄関のマットを歩きやすいマットに変える。自動ドアの側の手すりを滑りにくいものにするか、除去する。

参照